

●令和7年度 まちづくり予算 一般会計 82億700万円

予算編成方針

令和7年度は、前年度に引き続き「第6期大樹町総合計画」の基本構想に掲げる“人とひと・人と自然・人と宇宙がつながる誰にでも居場所のあるまち大樹”を着実に推進していくため、既存・新規事業を問わず、事業の目的を達成するために最善の手法であるか、最小の経費で最大の効果を生む手法であるかを再検証することなど、厳しい財政状況においても効率的かつ効果的な予算となるよう予算編成を行いました。

会計別予算

会計名		当初予算	前年度比
一般会計		82億 700万円	5.6%
特別会計	国民健康保険事業	6億 2,600万円	▲ 2.2%
	後期高齢者医療	1億 1,100万円	▲ 0.8%
	介護保険	7億 430万円	5.5%
	介護サービス事業	4億 5,360万円	3.9%
企業会計	水道事業	8億 3,290万円	2.3%
	国民健康保険病院事業	11億 6,210万円	1.6%
	下水道事業	4億 8,150万円	▲ 6.0%
総計		125億 7,840万円	4.0%

●まちづくり事業の主なもの

第6期大樹町総合計画将来像

“人とひと・人と自然・人と宇宙がつながる誰にでも居場所のあるまち大樹”

第1章 共に支え合い安心して暮らせるまち

1-1 地域福祉

目指す姿：本町に住む誰もが住み慣れた地域で、助け合い、支え合いながら暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

■重層的支援体制整備事業 1,587 万円

高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、分野や世代を問わない「相談支援」「社会参加支援」及び「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施します。

1-2 子育て支援

目指す姿：次代を担う子どもたちの健やかな成長のため、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。

■大樹町赤ちゃん誕生祝金＆妊婦のための支援給付金 800 万円

子育て家庭の経済的支援を目的に、誕生祝金 10 万円、妊婦 1 人に 5 万円ギフト、子 1 人に 5 万円ギフトを支給します。

■乳幼児及び児童医療費助成事業 1,979 万円

高校生までの医療費を全額助成します。

1-3 高齢者福祉

目指す姿：すべての高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができる環境づくりを目指します。

■高齢者等にやさしい住宅整備貸付事業 100 万円

高齢者、障害者の方と同居するための家を建てる際に最大 100 万円まで無利子の貸付支援を行います。

1-4 障がい福祉

目指す姿：地域の中で障がいのある人に対する理解が深まり、障がいがあっても住み慣れた地域で自立して生活できる地域社会の実現を目指します。

■心身障害者福祉事業 2 億 5,231 万円

障害者施設利用者の施設利用料や人工透析利用者の医療費補助など、障害者及び障害児の福祉の増進を図ります。

1-5 保健・医療

目指す姿：住民一人一人が自ら健康づくりや疾病予防に取り組み、生涯にわたり健やかな生活を送ることのできるまちを目指します。

■母子保健事業 1,404 万円

母子の各種健診、健康教育、健康相談などを実施し、健康づくりを推進します。

■成人保健事業 1,004 万円

成人の各種健診、健康相談、保健指導などを実施し、健康づくりを推進します。

■予防接種費用助成 68 万円

法に基づく定期予防接種や、安全性・予防効果が確認されている任意の予防接種に対して助成します。また、本年度から带状疱疹ワクチン接種に伴う自己負担分の一部助成を始めます。

1-6 社会保障

目指す姿：生涯にわたって安心した生活を送ることができるよう、医療・介護等の社会保障制度の適切な運用に努めます。

■介護老人福祉対策 898 万円

介護サービスの利用者で低所得による生活困難な方の利用料等を軽減します。

1-7 防災

目指す姿：様々な災害や危険から住民の命と暮らしを守る防災体制の確立と防災対策の強化を図ります。

■防災対策推進事業 428 万円

防災対策の充実を図るため、大樹町防災計画における備蓄計画に基づき、災害用備蓄品を購入します。

■津波避難タワー整備事業 3,360 万円

遠くない将来に発生が予想される千島海溝型巨大地震・大津波対策として、浜大樹、旭の両地区に津波避難タワーを整備するための実施設計を行います。

1-8 防犯・交通安全・消費者保護

目指す姿：犯罪やトラブルに巻き込まれない意識や知識の普及、交通安全に対する意識の向上や環境づくりを推進します。

■防犯交通安全推進事業 270 万円

交通安全の推進及び防犯対策の推進を図り、安全安心なまちづくりに努めます。

1-9 消防・救急

目指す姿：消防・救急体制の強化を推進し、地域防災力の向上を図ります。

■消防団水槽ポンプ自動車更新 6,013 万円

地域防災体制の充実強化を図るため、消防団の水槽付消防ポンプ自動車（尾田）を更新します。

第2章 誰もが学び続けられるまち

2-1 学校教育

目指す姿：家庭・地域と連携し、一人一人の子どもが未来における様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り開く「生きる力」を育むことのできる教育の確立を目指します。

■外国青年招致事業 1,367 万円

外国語指導助手を2名体制とし、ネイティブから直接学ぶ学習を充実させるとともに、授業の枠を超えて英語に親しむ機会を創出し、生きた英語力の育成に努めます。

■高校教育の振興 2,640 万円

大樹高校の生徒の確保と活性化を支援するため、通学費などの助成、各種検定試験受験料の助成、大樹高等学校海外見学旅行費の補助、全国募集の継続などを行います。

■学校給食費の負担軽減

安全安心な学校給食の提供はもとより、物価高騰に伴う学校給食費の保護者負担分の引き上げを行わず、子育て世帯の負担軽減を図ります。（平成27年度から給食費保護者負担は据置）

2-2 社会教育

目指す姿：住民一人一人の年代や生活スタイルに応じて、個人の生き方や考え方に広がり豊かさをもたらすため、地域と一体となって社会教育の推進を図ります。

■生涯学習センターの環境改善整備 7,400 万円

芸術・文化の中核施設である生涯学習センターについて、冷房設備とWi-Fi環境の整備を行います。

2-3 スポーツ

目指す姿：子どもから高齢者まで、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動の機会拡充に努め、技術の向上と健康増進を図ります。

■町民プール維持管理 1,212 万円

開館期間を拡大して、町民のスポーツの場を確保し、体力づくりや地域づくりを推進します。

2-4 文化

目指す姿：まちの伝統や文化財を保護し、確実に後世に伝えるとともに、住民一人一人が文化活動に触れることのできる環境づくりを目指します。

■文化事業の推進 522 万円

夢劇場奨励事業、小中学校芸術鑑賞事業、尾田地区文化祭、美術作品の展示などの事業に対する助成や、文化協会などの団体活動に対する補助を行います。

第3章 豊かな資源を活かし挑戦を続けるまち

3-1 農業

目指す姿：持続可能な農業生産基盤の構築と環境保全や資源循環に対応した生産活動の推進を目指します。

■多面的機能支払交付金事業 7,452 万円

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保管理の推進と担い手農家への農地集積を推進します。

■乳用牛増頭奨励緊急対策事業 500 万円

生乳生産の増産に向け、経産牛の増頭などに対して支援します。

■農道整備特別対策事業 1,500 万円

芽武北地区農道整備を継続して実施します。

■牧場管理運営費 1 億 6,226 万円

町営牧場は、町内の畜産経営から預託される乳用牛の育成、肉用繁殖牛と馬の放牧飼養のために運営しています。預託者が満足されるよう、今後も計画的な草地整備を行い、健全な飼養管理を行っていきます。

3-2 林業

目指す姿：計画的な森林整備を進め、森林の持つ多面的・公益的機能を発揮するとともに、資源循環の取組を推進します。

■町有林の育成・管理 5,469 万円

町の貴重な財産である町有林の育成と管理を行います。

3-3 水産業

目指す姿：漁港や漁場の整備を着実に進めるとともに、漁業資源の適切な管理と養殖漁業を推進します。

■漁業振興事業 1,451 万円

サクラマス養殖事業、大樹漁業協同組合が実施する施設整備や資源管理、漁業経営改善、流通・消費拡大などの取り組みに対して補助金を交付し、漁業の振興を図ります。

3-4 商工業

目指す姿：商工業者の経営の安定化を図るとともに、用地やインフラ整備を進め、企業誘致を推進し、地域活力の向上を目指します。

■創業支援事業 500 万円

町内において新たに創業しようとする事業者の方に対して、必要な経費の一部を補助します。

3-5 観光

目指す姿：地域資源を活かした体験型観光を推進するとともに、道の駅の機能強化による観光客の誘致拡大を目指します。

■観光振興対策事業 2,354 万円

道の駅魅力アップに向けた検討委員会、観光協会に対する助成金など観光振興を図るための経費を計上しています。

■もいわ山森林公園展望デッキ設計業務 222 万円

日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生したことから、崩和山森林公園に雄大な山並みが眺望できる展望デッキを整備します。

3-6 航空宇宙

目指す姿：北海道スペースポート（HOSPO）の整備により、企業誘致や新産業創出を促進し、人口増加や地域経済の活性化を目指します。

■北海道スペースポート整備事業 6 億 4,924 万円

継続して、北海道スペースポートの整備を進めます。

3-7 雇用・勤労者対策

目指す姿：就労を望む誰もが安心して働き続けるため、働く場の確保と雇用環境の改善を図ります。

■退職金共済制度加入促進対策事業 50 万円

中小企業退職金共済制度の加入を奨励し、中小企業に就業する従業員の福祉の増進を図ります。

第4章 美しい自然と共生する持続可能なまち

4-1 環境保全・脱炭素化

目指す姿：豊かな自然や雄大な景観など、まちの貴重な財産を守りながら、住民や地域、事業者等と一体となってゼロカーボンシティの実現を目指します。

■市街地街灯LED化改修工事 3,763 万円

市街地の丸玉タイプの街灯 135 本をLED電球に交換する工事を行います。

4-2 ごみ・リサイクル・し尿・環境美化

目指す姿：ごみの減量化と地球環境への負荷軽減が図られた持続可能な循環型社会の形成を目指します。

■生活系生ごみ減量化等推進事業 200 万円

家庭ごみの一層の減量化を推進するため、生ごみ処理機やコンポスター購入費用の一部を助成します。

4-3 上下水道

目指す姿：快適な居住環境を確保するため、良質な水の安定的な供給と生活排水の適切な処理を推進します。

■公共下水道ストックマネジメント計画策定 1,300 万円

下水道施設における劣化状態の把握や健全度の設定に必要な調査を実施し、調査結果をもとに持続可能な下水道事業を実現するための施設修繕・改築計画を策定します。

4-4 道路

目指す姿：日常生活での移動に必要な道路網の安全性や利便性を高め、誰もが安心・快適に利用できる道路整備を推進します。

■町道改良舗装事業 1 億 8,760 万円

2 路線の調査設計と美成 7 号支線、幸橋歩道橋、南町 4 号線、寿通 2 丁目線の改良舗装工事を行います。

4-5 公共交通

目指す姿：将来にわたって住民の交通手段を確保するため、誰もが安心して移動できる利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指します。

■コミュニティバス運行事業 545 万円

高齢者等の足の確保を行うとともに、外出機会を創出するため、コミュニティバスを運行します。

4-6 公園・緑地

目指す姿：住民の多様なニーズや生活様式の変化を踏まえた幅広い世代の住民に利用される公園づくりを推進します。

■都市公園整備事業 3,100 万円

柏林公園の魅力向上と機能充実のために、コスモスガーデンも取り込み、幅広い世代に利用される公園づくりを目指して実施設計を行います。

4-7 住環境

目指す姿：公営住宅の計画的な更新や空き家等の有効活用など、必要な住宅政策を進めるとともに、移住定住を促進する宅地の分譲など、住みよい住環境づくりを目指します。

■大樹でかなえるマイホーム支援事業 1,290 万円

新築住宅や中古住宅の購入などに対して助成します。

■町営住宅建設事業 1 億 7,208 万円

寿町団地 4 号棟（1 棟 5 戸）を新築します。

4-8 火葬場・墓地

目指す姿：火葬場・墓地の適切な維持管理に努めます。

■墓園管理 159 万円

町内 4 か所にある墓園の適切な維持管理に努めます。

第5章 地域共創やデジタル化が進むまち

5-1 コミュニティ・協働

目指す姿：住民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を果たす、地域が一体となった協働のまちづくりを推進します。

■地域コミュニティ推進事業 222 万円

行政区単位などで行う環境美化運動や福祉、生涯学習、健康増進および防災のための活動など、自主的な地域づくり活動を支援します。

5-2 交流・移住定住

目指す姿：町内外の企業、学校、個人など、多様な人が定期的・継続的にまちに関わりを持ち、地域に暮らす人とつながる仕組みを構築することにより、新たな人の流れの創出と交流人口・関係人口の拡大を目指します。

■移住促進事業 1,335 万円

移住・定住促進のため移住コーディネーターを配置して、移住・定住に向けた広報やワーキングステイ促進事業を通じて地域活性化を図ります。

5-3 情報通信・デジタル化

目指す姿：Society5.0 時代に対応するため、地域内における ICT 化を推進し、住民の利便性向上と行政事務の効率化を目指します。

■自治体 DX 標準化・共通化対応業務 1 億 7,118 万円

情報通信・デジタル化として、国がオンライン申請等を普及させるためのデジタル基盤の構築と位置づける基幹業務システムの標準準拠システムへの移行を進めます。

5-4 行財政

目指す姿：住民生活に最も身近な行政機関として、質の高い住民サービスを提供するとともに、歳入と歳出のバランスが取れた行財政運営を目指します。

■ふるさと納税事業の推進 1 億円

大樹町をより多くの方に PR するため、地場の特産品（返礼品）を拡充するとともに、ポータル サイトを活用し、地域の様々な魅力を対外的に発信していきます。

5-5 広域行政

目指す姿：住民の生活圏拡大への対応や事務事業の効率化を図るため、関係機関や関係市町村との連携強化を推進します。

■十勝圏複合事務組合負担金

十勝総合振興局内にある 19 市町村で構成する組合で、各種事業を共同で行っています。

公共施設にかかる経費

令和５年度決算と令和７年度予算をもとに、町内の体育施設や公園を含めた公共施設の維持管理経費を簡単にお知らせします。

(単位：千円)

区分	経費合計		うち使用料収入		うち一般財源充当額	
	R5	R7	R5	R7	R5	R7
福祉センター	10,221	11,924	828	780	9,393	11,144
行政区会館	12,542	17,456	51	63	12,491	17,393
公園（中央運動公園を除く）	15,935	20,043	1	1	15,934	20,042
公衆浴場	12,928	14,407	2,605	2,867	10,323	11,540
歴舟川パークゴルフ場	17,352	21,222	0	0	13,797	21,222
生涯学習センター	52,747	50,798	1,251	1,231	51,496	49,567
中央運動公園	27,746	33,210	167	164	27,579	33,046
B&G 海洋センター（体育館、武道館）	12,905	16,384	618	390	12,287	15,994
町民プール	—	12,120	—	239	—	11,881

まちの予算を家計にたとえると？

町の一般会計予算を年収 400 万円の家計にたとえると、１年間に必要なお金は約 679 万円になります。家の増改築や家電・車を買替える必要があるため、親からの仕送り約 150 万円と貯蓄約 66 万円を取り崩し、一部はローンを借り入れることで生計を立てることになります。

令和７年度予算（一般会計）		割合（％）	家計にたとえた場合（年収 400 万円の家庭）	
歳出	8,207,000 千円	100.0	支出	6,791,200 円
消費的支出	5,020,825 千円	61.2	食費、光熱水費、医療費等	4,156,100 円
投資的支出	1,629,645 千円	19.9	家の増改築、家電・車の購入等	1,351,400 円
公債費	881,200 千円	10.7	ローン返済	726,700 円
その他（積立・繰出金など）	675,330 千円	8.2	その他（貯蓄など）	557,000 円
歳入	8,207,000 千円	100.0	収入	6,791,200 円
税収、地方交付税等	4,835,627 千円	58.9	給料・手当	4,000,000 円
補助金	1,811,621 千円	22.1	親からの仕送り	1,500,800 円
繰入金	797,352 千円	9.7	貯蓄取り崩し	658,700 円
町債	762,400 千円	9.3	ローンの借入	631,500 円
町債残高（７年度末見込）	8,602,283 千円	104.8	ローン残高	7,118,300 円
基金残高（７年度末見込）	3,105,139 千円	37.8	預金残高	2,569,500 円

一般会計の町債（町の借金）と基金（貯金）の推移

町債残高は、借入予定額が償還額を下回るため、減少する見込みです。

また、基金残高については、北海道スペースポートや公共施設の整備、経常経費の一般財源不足などに対応するため、財政調整基金や航空宇宙関連施設整備基金、公共施設整備基金などを取り崩すことから減少する見込みです。

（単位：千円）

区分		3 年度末	4 年度末	5 年度末	6 年度末見込	7 年度末見込
町債	金 額	9,508,318	9,242,230	8,797,877	8,653,272	8,602,283
	対前年増減率	28.8%	▲ 2.8%	▲ 4.8%	▲ 1.6%	▲ 0.6%
基金	金 額	4,089,071	3,963,614	4,054,482	3,767,469	3,105,139
	対前年増減率	18.9%	▲ 3.1%	2.3%	▲ 7.1%	▲ 17.6%